

# 千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba\_syokutairen@ybb.ne.jp

HP : <https://chiba-syokutairen.org/>

## 第45回総会開催

### 職対連活動を45期で終了する提案が承認される

第45回千葉職対連総会が七夕の7月7日(日)午後、船橋市勤労市民センターに於いて開催されました。

日本の将来を左右するかもしれない歴史的な参議院議員選挙が4日公示された最初の日曜日、梅雨の小雨降るあいにくの天気でしたが来賓、役員、会員14名の参加がありました。来賓として日本共産党坂井船橋議会議員から連帯のあいさつをいただきました。



報告する阿部会長

阿部会長は労働災害や職業病の根絶を目指し、健康で楽しく働くことの出来る職場環境を自分たちの手にすることを念願して1975年7月13日に千葉職対連が結成されたこと、その後1976年1月から取り組まれるようになった「労災・職業病何でも相談会」が2019年1月で500回になったことなどを報告しました。

また、20年前の1999年5月に「働く者のいのちと健康を守る千葉県センター」が結成され、他都道府県の多くの職対連が「いのちと健康センター」に組織統一した中、千葉職対連は相談会活動を

担うとして千葉センターと役割分担をして活動を継続してきたことを紹介しました。

しかしながらその後、加盟団体からの役員派遣が形骸化し活動できる役員の減少・高齢化、また、自治体の広報が相談会開催を毎月掲載してくれなくなったことなど様々な要因が重なり相談者の減少傾向が数年来続いたこともあり2020年3月で相談会活動の終了、7月に閉会総会を開催することを提案しました。

議案提案では職対連の主な活動である毎月の「労災なんでも相談会」の来訪者が44年度は微増になったが広報掲載がタイムリーでなくなったこと、HPを再開し相談日をお知らせし、相談者増を図ったが相談者減傾向は回復しなかったことが報告され20年3月で相談会を終了せざるをえない事が報告されました。

討論では職対連活動を45期で終了する提案に対しては特に反対意見は出ず、8名の方が自身の労働安全・労災職業病活動を振り返り、千葉職対連とのかかわりについて歴史的経過も含め職対連活動の44年を振り返る発言をいただきました。

藤野副会長(弁護士)の閉会挨拶では、安倍政権の政策では国民の生活は守れない、参議院選挙で退陣させよと呼びかけて閉会しました。



報告する森氏



# 「明治維新の教え」

(連載 その2)

今、日本にのしかかっている問題を考えるために日々の報道からネタを拾ってみるとそれはいくつもあります。たとえば、中高年になった引きこもりの子どもを高齢の親が面倒をみるという「8050問題」または「7040問題」と呼ばれるものがあります。中高年の長期の「引きこもり」者による事件が2件ありました。現在引きこもっている「子ども」を持つ親にとって、この事件は「明日のわが身」と語られることも目にしました。引きこもったこどもの過去を見ていくと幼くして自分の立ち位置を失い、学校にも行けなくなるケースが多いようです。自分の部屋に引きこもると社会から見えなくなります。そんな子どもでも「学校の勉強が面白くて、毎日学校に行くのが楽しみだった」というような楽しい経験が少しでもあれば、その後の子どもは異なったものになったのではないのでしょうか。私は「学校の授業が面白くない、学校へ行きたくない」という問題は、成長していく過程にある幼い児童・生徒にとっては実に大きな人生上の問題だと考えています。これは学校教育の場合の問題ですが、その当事者である学校がまったく無力であることが残念でなりません。私たちが小さい頃は学校へは遊びに行きました。朝から晩まで一日楽しく過ごした経験が無数にありました。このスタイルがどうしてか大きく変わったようです。

話は変わりますが、モリ・カケ「学園問題」にも似たような問題性が感じられます。財務省や文科省、あるいは首相官邸などに勤務する「高級官僚(高級事務員)」の言動を見るときそう思います。彼らは日本の有名一流大学出身者ながら、そのモラルのなさはあきれものがあります。「百の才はあっても一片の誠」を持ちあわせていないようです。その学識とその人格がリンクしていないのです。彼らは本当に学問したといえるのでしょうか。

これは原発事故を起こした企業経営の最高幹部をみてもいえます。こちらも一流大学を出て企業のトップに上り詰めた人たちが、社会的重大事故を起こしながら、その責任感がなく、まったく責任を認めないのも「高級事務員」と似たものを感じさせます。そしてさらに、破たんした原発を基幹エネルギーとして再び利用する意図をあらわにしている政治家トップの見識のなさには目をむくものがあります。彼らの倫理観は一体どうなっているのだろうか。

この問題の根源は何かと突き止めていくと、私はどうしても明治維新に突き当たってしまうのです。明治維新を成し遂げ、作り上げた「近代国家」の日本には致命的な欠陥があったと考えざるをえないのです。それが150年たった今まで一度も見直されてこなかったのも問題でした。

## 当面の取組日程

千葉職対連事務局

7・16(火)	過労死ソポ 実行委員会	10:00~	千葉県弁護士会館
17(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
23(火)	いの健センター千葉労働局要請	10:30~	千葉労働局会議室
27(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	成田市中央公民館
8・31(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
9・4(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
18(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
28(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
10・2(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
16(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
26(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター

千葉職対連ニュース八月号は休みます。  
\*おしらせ\*